

目黒区の元気!

目黒区議会議員 小林かなこ

# かなこ元気NEWS

ニュース

vol.14

(発行) 目黒区議会議員 小林かなこ 〒152-0011 目黒区原町1-12-2-201 電話:03(6303)2628 FAX:03(6303)2632



この夏

## 新たな福祉のお店がOPEN!!

第一回定例会の一般質問で取り上げた  
区内障害者福祉施設の自主製品の販路拡大について、  
この夏めぐろ区民キャンパス内に新たな福祉のお店がオープンします!



目黒通り沿いの「Sun Marcheさんまるしえ」では、人気の日替わり弁当や彩り鮮やかな期間限定ドリンクの他、クラフト製品、多肉植物の販売も行っています。季節のフェアの開催や、平日午後2時から4時まではドリンクが30円引きになるハッピータイムも実施中!新しくできるお店も楽しみです!



令和3年・第1回定例会

一般質問

## 区内障害者福祉施設製品の販路拡大を!

**小林 質問** 新型コロナウイルス感染症の影響で、区内の様々なイベントが中止や延期となった。お祭りやイベント時における展示販売はこれまで施設の大きな収益になっていたが、コロナの影響で収益が見込めず、利用者の工賃の減少が懸念される。区立施設を活用して販売機会を増やすなど販路拡大が必要ではないか。



**区長 答弁** 区内の就労系障害福祉サービス事業所では工賃の減少が見込まれており、工賃向上のための一層の取組が求められている。自主製品の販路拡大を図るため、西小山再開発地区における販売場所を事業所に提供するとともに、令和3年度にはめぐろ区民キャンパス内に新たな福祉の店を開設し、多様な交流機会の場となるよう障害理解の推進をしていく。





**小林質問** 外出自粛要請を受け、ネットスーパーの需要が高まり飲食のデリバリー業者も急増した。巣籠もり消費によって、買い物をする場所が店舗からECサイトへと移り変わり、国の統計でもネットショッピングの支出額と



自主生産品カタログ  
「めぐるはんどめいどぐっず」



利用世帯の割合は右肩上がりです。区内の障害者福祉施設は基本的に店頭販売だが、カタログやオンラインショップによる販路拡大について所見を伺う。

**区長答弁** 各施設では、実際に商品を手にとって購入できる店頭販売で、現金払いとなっている。コロナ禍での消費においては対面の買い物からインターネットを利用した支出が増加していることから、場所や時間の制約を受けないオンラインショップにおける販売方法については、まずは新たに開店する福祉の店の運営で検討を進めていく。新たな福祉の店では売れ筋商品を各事業所に情報提供するとともに、より多くの方々に商品の魅力を発信して購入につながる店舗を目指していく。



## 目黒区初！

### 目黒区無電柱化推進計画

## ソフト地中化にむけた取り組み

私は、政策の1つとして区道の無電柱化に取り組んでいます。大きく遅れている区道の無電柱化を推進するため、費用が安く、トランスボックス(変圧器)などを地上に置かずに済むソフト地中化方式を採用するよう、これまで何度も議会や委員会等で訴えた結果、この度、目黒銀座商店街の無電柱化にソフト

地中化方式が採用される予定です！

ソフト地中化は、地上機器を街路灯等の柱上に設置する手法で、戸越銀座商店街(品川区)や平井地区(江戸川区)などで採用されていますが、目黒区では初となります。今後も経過を注視しながら、無電柱化による防災機能向上や安全な歩行空間の確保、景観の向上を推進してまいります。



戸越銀座のソフト地中化の様子

### 現在の目黒銀座商店街の様子



小林かなこ 公式SNS  
情報発信中！



公式HP  
「目黒区の元気」で検索！  
FBもインスタも見られます！



Facebook  
日々の活動はこちら！



Instagram  
「小林かなこInstagram」で検索  
すればPCでも見られます！

早めの受診を

## 乳がん検診を受けましょう！

新型コロナの影響で、がん検診の受診者は全国的に約3割減少しました。「コロナが落ち着いてから」と思っていると手遅れになる可能性があります。40歳以上の対象者には、5月末に区から無料クーポン券を発送しますが、感染防止対策を徹底して行っていますので是非お早めの受診を！



## プロフィール

筑波大学卒業。区議会議員現在2期目。都市環境委員会委員長。  
大学卒業後から米国で日本語教師助手を勤めるなど、日米間の教育事業に長年従事。  
空手3段、防災士。原町1丁目町会、目黒消防団第8分団、自民党東京都連青年局所属 ほか。

